

基礎調査

インドネシア国 水産資源の有効活用によるだし調味料 新製品開発事業にかかる基礎調査

企業・サイト概要

- 提案企業:かね七株式会社
- 代表企業所在地:富山県富山市水橋畠等297
- サイト:インドネシア国 北スラウェシ州 ビトン市



インドネシア共和国の開発課題

- 1.水産資源の効率的利用
- 2.水産加工業の高付加価値化
- 3.水産物輸出の振興と海洋産業の形成
- 4.水産業を核とした地域開発

中小企業の製品・技術

- 1.流動層式造流法による風味を損なわない顆粒状だし調味料の製造
- 2.従来、廃棄されていた漁業資源の有効活用と環境汚染の軽減
- 3.妊産婦・児童向けの栄養食品としての付加価値を持つ製品

日本の中小企業の事業戦略

中長期的には地産地消型ビジネスモデルを構築し事業展開を目指す。そのための基礎調査として今年度は、安価な原料魚・労働力の調達可能性、だし調味料製造技術及び拠点設置検討、イ国内の流通システム、ジャカルタ・スラバヤなどの大都市圏を含むだし調味料の消費者嗜好動向、原材料となる魚類の種類・漁獲量、ハラル認可取得、などの調査分析を実施する。この調査結果を踏まえ次年度は、工場建設の可能性について検討する。

中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

地産地消型ビジネスを展開することで、イ国の開発課題で記載した1~4が達成可能になり、環境汚染の軽減、妊産婦・児童に対する栄養食品としての期待、漁村部の女性を中心に現地雇用し所得の向上と社会進出を目指す、港湾・漁港などのインフラ整備・工場建設によるイ国の経済効果はかなり大きく地域の活性化が図れる。